

日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」への症例登録事業について

1. この疫学研究の目的

この疫学研究は「日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」への症例登録事業」といい、熱傷のため入院された患者さんの診療情報をたくさんの施設から集め、一元的にデータベース化することによって熱傷診療の調査を行うものです。日本熱傷学会が中心となり全国の医療機関が共同で行っています。

この研究は、我が国における熱傷診療の全体像を把握し、今後の熱傷診療における質の向上に役立たせることを目的としています。

2. 疫学研究に参加していただく患者さんの人数及び研究期間

この疫学研究では、2011年4月から2016年3月までの5年間に、熱傷のため日本熱傷学会が指定する医療機関へ入院された患者さん（5年間で約7,500名）に参加していただく予定です。

3. 疫学研究の方法について

この疫学研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）から、受傷年月日、年齢、重症度、手術の有無、転帰などについて集計し、データベースである日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」へ登録させていただきます。なお登録する時には、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などは使用いたしません。

日本熱傷学会および研究に参加する医療機関は、全国の医療施設から登録された診療情報を集計のうえ、我が国における熱傷診療の全体像を把握し、今後の熱傷診療における質の向上に役立たせるために、その結果を学会などで公開します。

4. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また代諾者の方も、あなたと同様に、同意を撤回したり、中止の申し入れをすることができます。

なお、疫学研究の途中で同意を取り消された場合でも、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたにとって何ら不利益を受けることはありません。

5. あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。各参加施設の個人情報管理者（登録責任医師）が厳重に元データを保管・管理しております。

ご心配な点がありましたら、各医療機関の登録責任医師までお問い合わせください。

6. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性

や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

7. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

8. この疫学研究に参加する施設、担当する医師の氏名

対象となる患者さんで、この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合には、小牧市民病院 救命救急センター部長 井上卓也（疫学研究責任医師）に、いつでもご連絡ください。また、この疫学研究全体についてのご質問は、日本熱傷学会事務局 (burn@shunkosha.com)まで、ご連絡ください。

小牧市民病院

救命救急センター部長 井上卓也